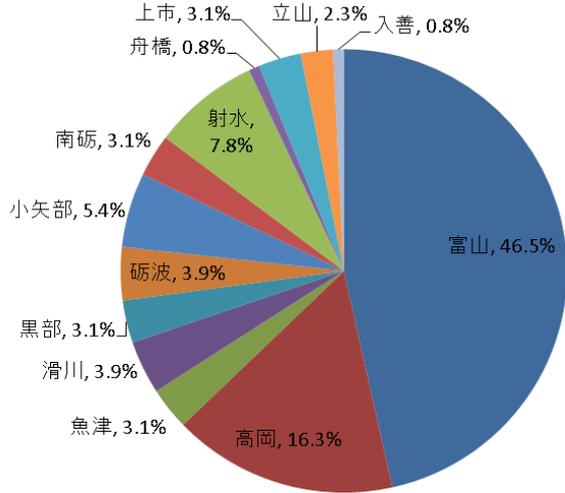


# 富山県 IoT 推進コンソーシアム企業アンケート実施結果【詳細版】

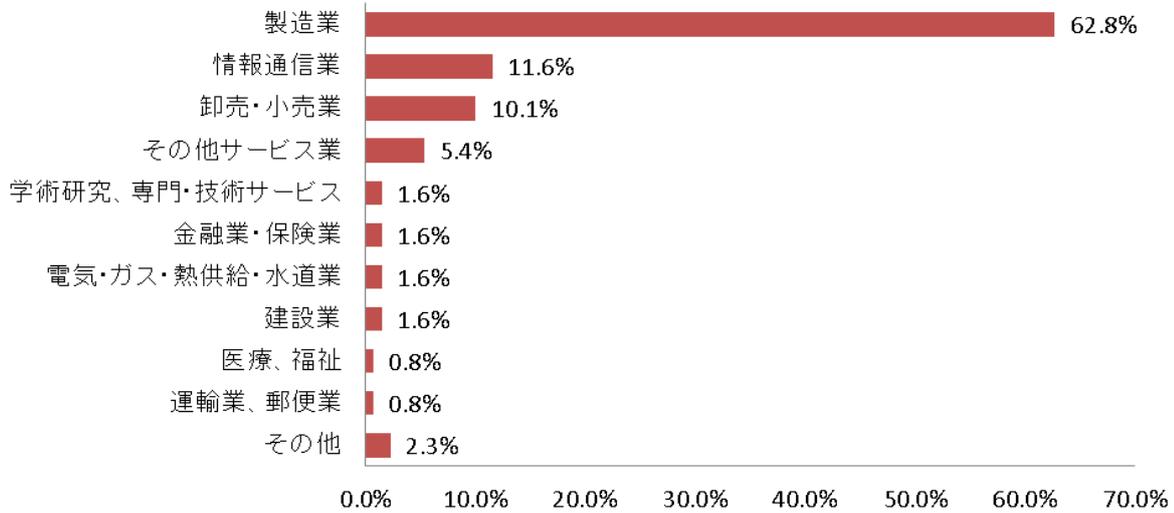
## 1 事業所情報

### (1) 事業所所在地 (n=129)



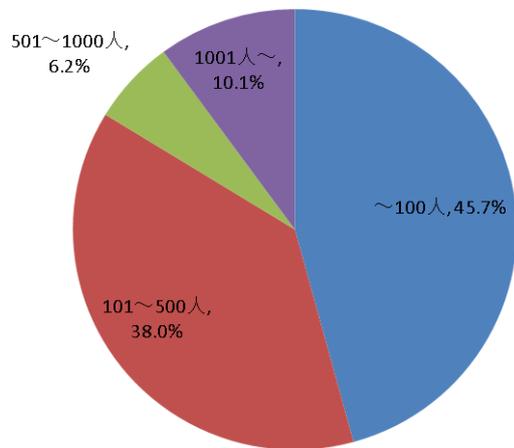
富山	60	46.5%
高岡	21	16.3%
魚津	4	3.1%
氷見	0	0.0%
滑川	5	3.9%
黒部	4	3.1%
砺波	5	3.9%
小矢部	7	5.4%
南砺	4	3.1%
射水	10	7.8%
舟橋	1	0.8%
上市	4	3.1%
立山	3	2.3%
入善	1	0.8%

### (2) 業種 (n=129)



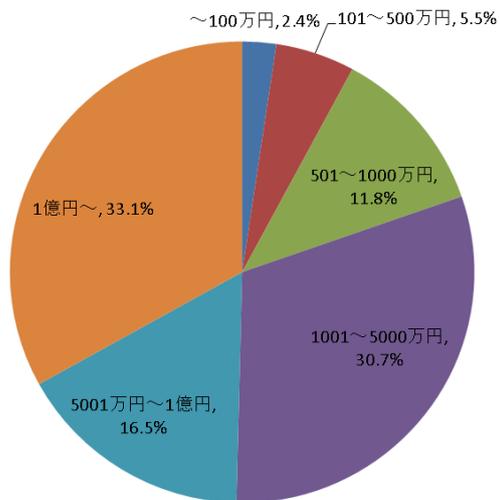
製造業	81	62.8%
情報通信業	15	11.6%
卸売・小売業	13	10.1%
その他サービス業	7	5.4%
建設業	2	1.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	1.6%
金融業・保険業	2	1.6%
学術研究、専門・技術サービス	2	1.6%
運輸業、郵便業	1	0.8%
医療、福祉	1	0.8%
その他	3	2.3%

(3) 従業員規模 (n=129)



~100人	59	45.7%
101~500人	49	38.0%
501~1000人	8	6.2%
1001人~	13	10.1%

(4) 資本金規模 (n=127)

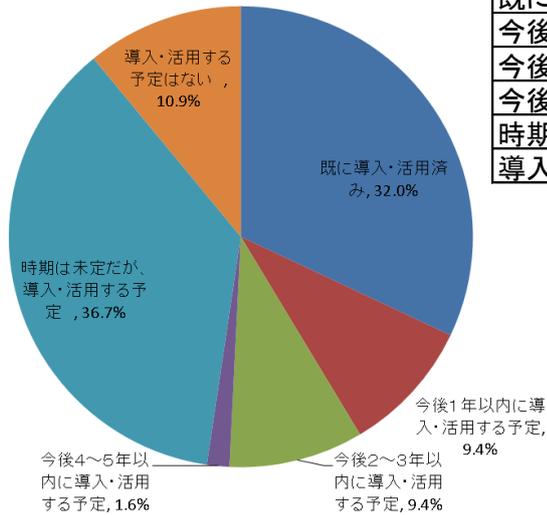


~100万円	3	2.4%
101~500万円	7	5.5%
501~1000万円	15	11.8%
1001~5000万円	39	30.7%
5001万円~1億円	21	16.5%
1億円~	42	33.1%

## 2 IoT の導入・活用状況

### (1) 現時点での IoT の導入・活用状況 (n=128)

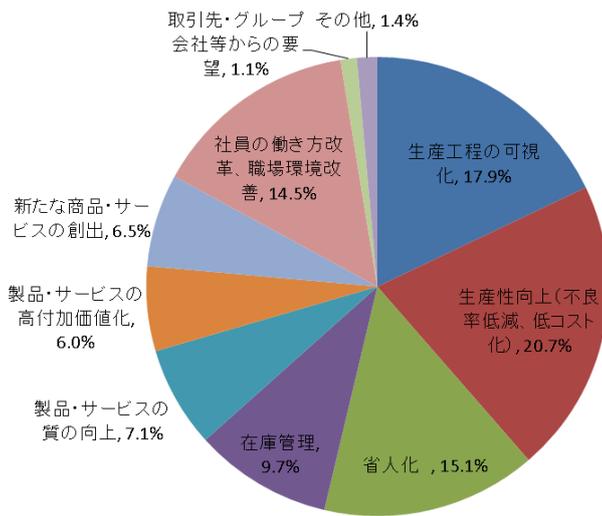
「時期は未定だが、導入する予定」が 36.7%で最も割合が高く、次いで、「既に導入・活用済み」が 32.0%だった。また、今後導入予定がある割合は 57.1%であり、導入済の割合を合わせると約 9 割の企業が IoT 導入に向けた検討を行っている。



既に導入・活用済み	41	32.0%
今後1年以内に導入・活用する予定	12	9.4%
今後2～3年以内に導入・活用する予定	12	9.4%
今後4～5年以内に導入・活用する予定	2	1.6%
時期は未定だが、導入・活用する予定	47	36.7%
導入・活用する予定はない	14	10.9%

### (2) IoT を導入・活用する目的 (n=352) ※複数回答可

「生産性の向上」が 20.7%で最も高く、次いで、「生産工程の可視化」が 17.9%、「省人化」が 15.1%だった。

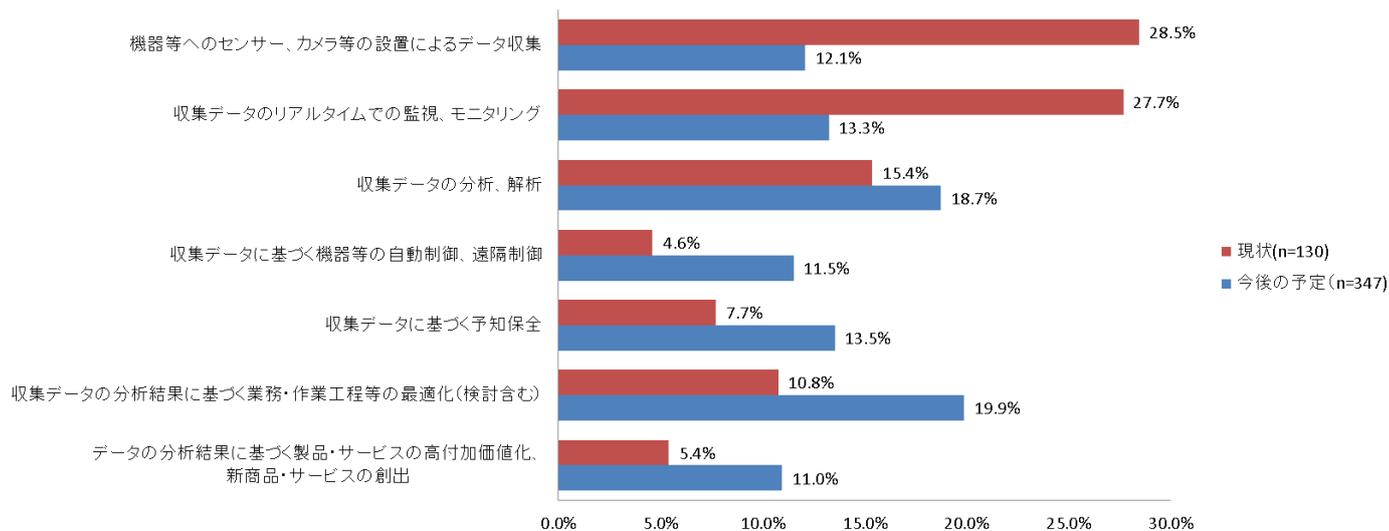


生産工程の可視化	63	17.9%
生産性向上(不良率低減、低コスト化)	73	20.7%
省人化	53	15.1%
在庫管理	34	9.7%
製品・サービスの質の向上	25	7.1%
製品・サービスの高付加価値化	21	6.0%
新たな商品・サービスの創出	23	6.5%
社員の働き方改革、職場環境改善	51	14.5%
取引先・グループ会社等からの要望	4	1.1%
その他	5	1.4%

### (3) IoT の導入・活用の段階 ※複数回答可

#### ①活用段階

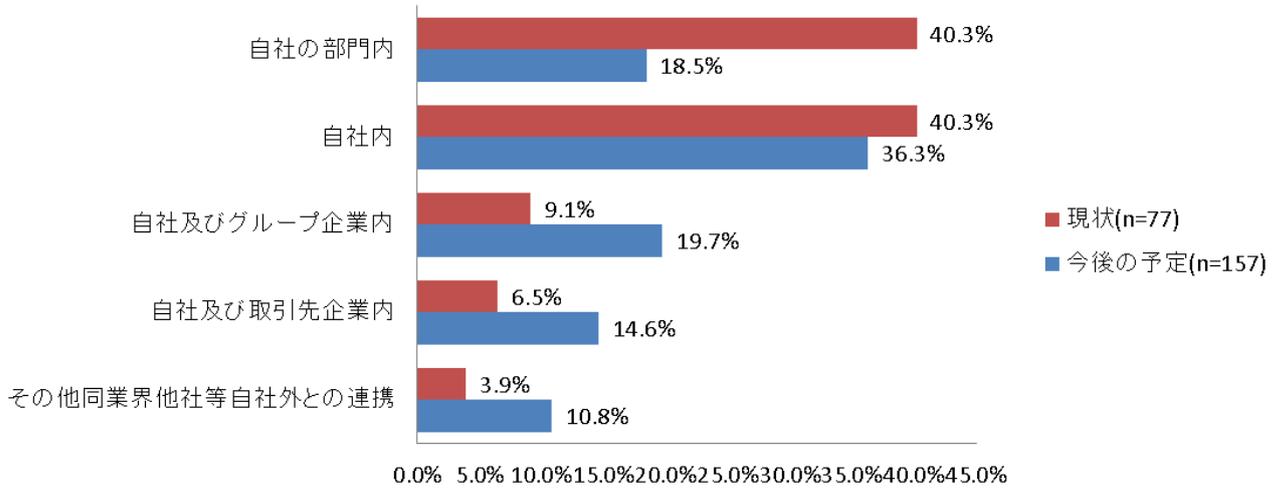
IoT の活用段階については、現状では「機器等へのセンサー、カメラ等の設置によるデータ収集」が 28.5%、「収集データのリアルタイムでの監視、モニタリング」が 27.7%と割合が高い一方で、今後の予定では、「収集データの分析結果に基づく業務・作業工程等の最適化」(19.9%)、「収集データに基づく予知保全」の割合(18.7%)が高くなっている。将来的に収集したデータを活用することを考えている企業が多い傾向にある。



	現状	今後の予定
機器等へのセンサー、カメラ等の設置によるデータ収集	37 28.5%	42 12.1%
収集データのリアルタイムでの監視、モニタリング	36 27.7%	46 13.3%
収集データの分析、解析	20 15.4%	65 18.7%
収集データに基づく機器等の自動制御、遠隔制御	6 4.6%	40 11.5%
収集データに基づく予知保全	10 7.7%	47 13.5%
収集データの分析結果に基づく業務・作業工程等の最適化(検討含む)	14 10.8%	69 19.9%
データの分析結果に基づく製品・サービスの高付加価値化、 新商品・サービスの創出	7 5.4%	38 11.0%

②データの収集・共有範囲

現状では「自社の部門内」「自社内」が40.3%で最も割合が高く、今後の予定でも「自社内」が36.3%と最も高い割合となった。次いで「自社及びグループ企業内」が19.7%となったが、自社以外とのデータの共有を想定している企業は少ない。

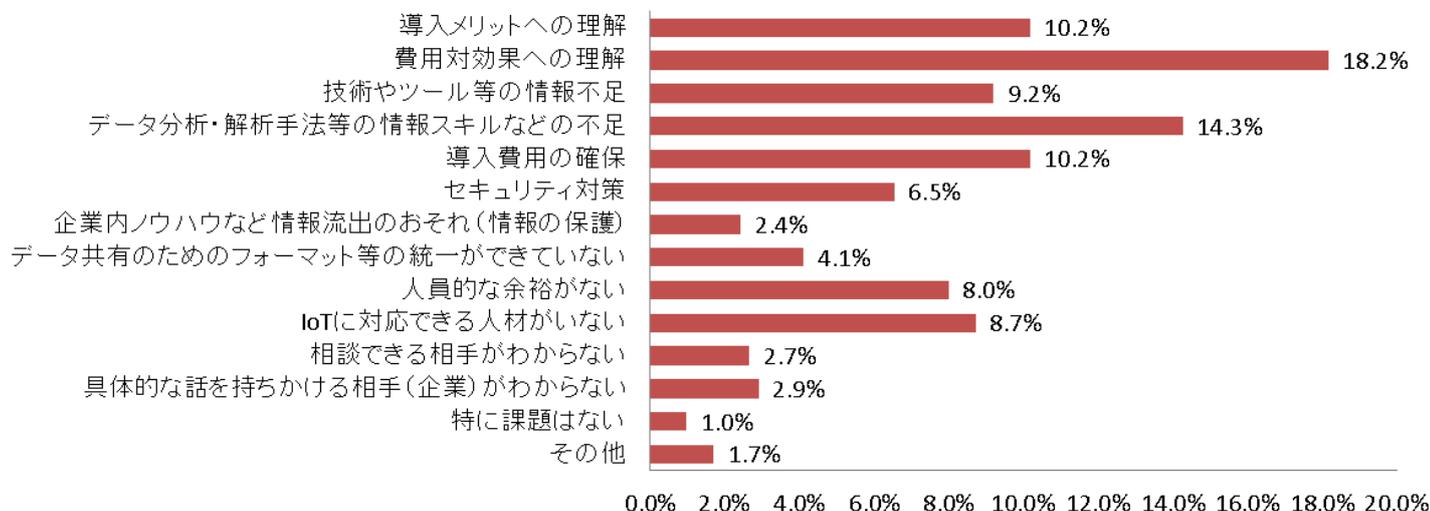


	現状	今後の予定
自社の部門内	31	29
	40.3%	18.5%
自社内	31	57
	40.3%	36.3%
自社及びグループ企業内	7	31
	9.1%	19.7%
自社及び取引先企業内	5	23
	6.5%	14.6%
その他同業界他社等自社外との連携	3	17
	3.9%	10.8%

### 3 IoT の取組みの課題、コンソーシアムに求める取組み

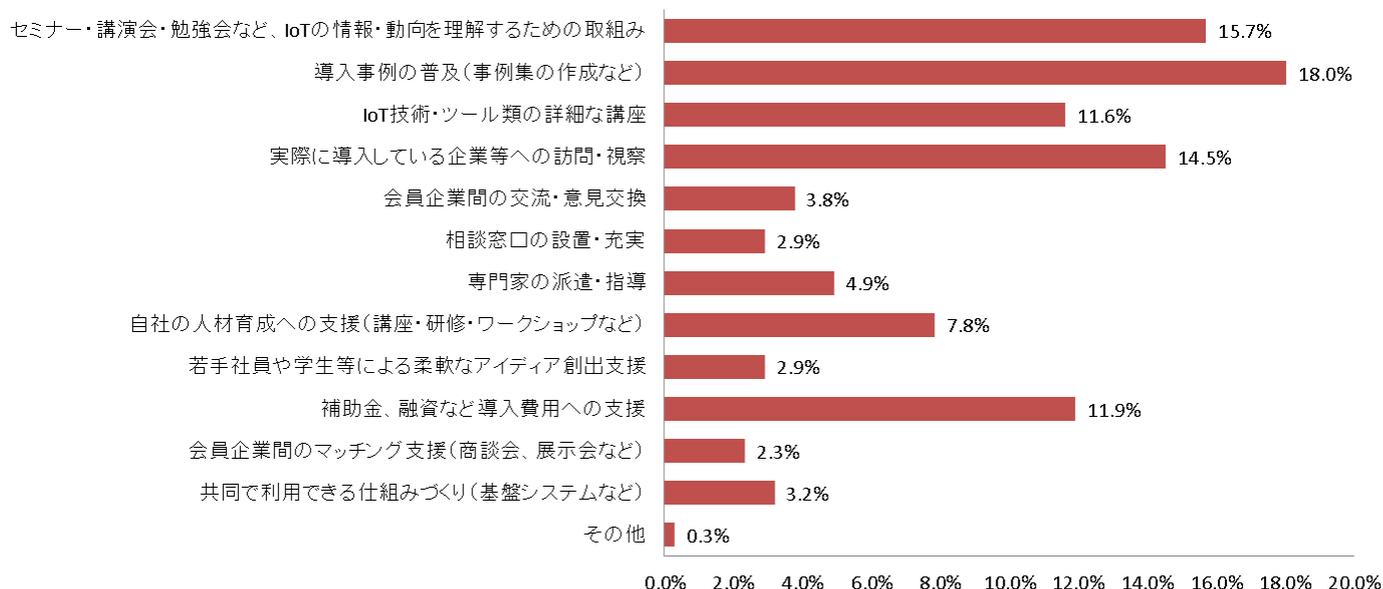
(1) IoT を導入・活用するにあたり課題に感じる事 (n=413) ※複数回答可

「費用対効果への理解」が 18.2%と最も割合が高く、次いで、「データ分析・解析手法等の情報スキルなどの不足」が 14.3%となった。



導入メリットへの理解	42	10.2%
費用対効果への理解	75	18.2%
技術やツール等の情報不足	38	9.2%
データ分析・解析手法等の情報スキルなどの不足	59	14.3%
導入費用の確保	42	10.2%
セキュリティ対策	27	6.5%
企業内ノウハウなど情報流出のおそれ(情報の保護)	10	2.4%
データ共有のためのフォーマット等の統一ができていない	17	4.1%
人力的な余裕がない	33	8.0%
IoTに対応できる人材がない	36	8.7%
相談できる相手がわからない	11	2.7%
具体的な話を持ちかける相手(企業)がわからない	12	2.9%
特に課題はない	4	1.0%
その他	7	1.7%

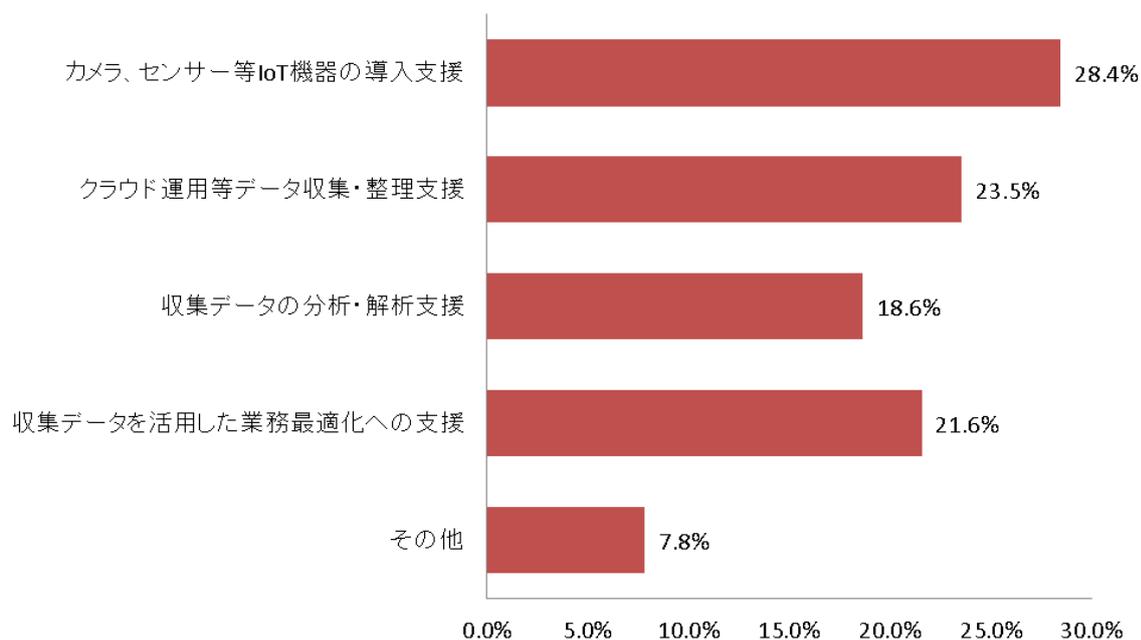
(2) コンソーシアムや県に対して求める取組み (n=344) ※特に必要と考えるもの3つまで  
「導入事例の普及」(18.0%)、「セミナーなどIoTの情報・動向を理解するための取組み」(15.7%)、  
「導入企業等への訪問・視察」(14.5%)の割合が高いことから、依然としてIoT導入に向けて  
の基礎的な取組みが必要である結果となった。



セミナー・講演会・勉強会など、IoTの情報・動向を理解するための取組み	54	15.7%
導入事例の普及(事例集の作成など)	62	18.0%
IoT技術・ツール類の詳細な講座	40	11.6%
実際に導入している企業等への訪問・視察	50	14.5%
会員企業間の交流・意見交換	13	3.8%
相談窓口の設置・充実	10	2.9%
専門家の派遣・指導	17	4.9%
自社の人材育成への支援(講座・研修・ワークショップなど)	27	7.8%
若手社員や学生等による柔軟なアイデア創出支援	10	2.9%
補助金、融資など導入費用への支援	41	11.9%
会員企業間のマッチング支援(商談会、展示会など)	8	2.3%
共同で利用できる仕組みづくり(基盤システムなど)	11	3.2%
その他	1	0.3%

#### 4 IoT 導入・活用へ提供できるサービス等 (n=102) ※IT 関連企業向け設問

「カメラ、センサー等 IoT 機器の導入支援」が 28.4%と最も高い割合となった。



カメラ、センサー等IoT機器の導入支援	29	28.4%
クラウド運用等データ収集・整理支援	24	23.5%
収集データの分析・解析支援	19	18.6%
収集データを活用した業務最適化への支援	22	21.6%
その他	8	7.8%

○製造業／非製造業別、IoTの導入・活用状況別回答結果

【製造業】(n=81)

1 IoTを導入・活用する目的

状況 \ 目的	生産工程の可視化	生産性向上	省人化	在庫管理	製品・サービスの質の向上	製品・サービスの高付加価値化	新たな商品・サービスの創出	社員の働き方改革、職場環境改善	取引先・グループ会社等からの要望	その他
既に導入・活用済み	23 85.2%	19 70.4%	12 44.4%	10 37.0%	10 37.0%	4 14.8%	3 11.1%	12 44.4%	0 0.0%	0 0.0%
1年以内に予定	7 77.8%	7 77.8%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%
2～3年以内に予定	8 72.7%	11 100.0%	7 63.6%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%
4～5年以内に予定	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	17 63.0%	21 77.8%	15 55.6%	9 33.3%	7 25.9%	2 7.4%	4 14.8%	12 44.4%	1 3.7%	1 3.7%
予定なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体	57 70.4%	60 74.1%	38 46.9%	26 32.1%	17 21.0%	7 8.6%	8 9.9%	34 42.0%	2 2.5%	2 2.5%

- ・ 製造業全体では、「生産性向上」が74.1%と最も割合が高く、次いで、「生産工程の可視化」が70.4%、「省人化」が46.9%となった。
- ・ うち、導入済みの企業においては「生産工程の可視化」が85.2%と最も割合が高かった。

## 2 IoTの導入・活用の段階（活用段階）

導入・活用 （現状） 状況	①機器等へのセンサカメラ等の設置によるデータ収集	②収集データのリアルタイムでの監視、モニタリング	③収集データの分析、解析	④収集データに基づく機器等の自動制御、遠隔制御	⑤収集データに基づく予知保全	⑥収集データの分析結果に基づく業務・作業工程の最適化	⑦データの分析結果に基づく製品・サービスの高付加価値化
既に導入・活用済み	18 66.7%	21 77.8%	12 44.4%	2 7.4%	5 18.5%	7 25.9%	2 7.4%
1年以内に予定	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
2～3年以内に予定	3 27.3%	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	1 9.1%
4～5年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
予定なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体	26 32.1%	28 34.6%	15 18.5%	3 3.7%	5 6.2%	11 13.6%	3 3.7%

・製造業全体では、「収集データのリアルタイムでの監視、モニタリング」が34.6%と最も割合が高く、次いで、「機器等へのセンサカメラ等の設置によるデータ収集」が32.1%、「収集データの分析、解析」が18.5%となった。既に導入済みの企業においても同様の傾向が見られた。

導入・活用 （今後の予定） 状況	①機器等へのセンサカメラ等の設置によるデータ収集	②収集データのリアルタイムでの監視、モニタリング	③収集データの分析、解析	④収集データに基づく機器等の自動制御、遠隔制御	⑤収集データに基づく予知保全	⑥収集データの分析結果に基づく業務・作業工程の最適化	⑦データの分析結果に基づく製品・サービスの高付加価値化
既に導入・活用済み	5 18.5%	5 18.5%	10 37.0%	13 48.1%	14 51.9%	18 66.7%	12 44.4%
1年以内に予定	6 66.7%	6 66.7%	7 77.8%	4 44.4%	6 66.7%	5 55.6%	2 22.2%
2～3年以内に予定	6 54.5%	6 54.5%	8 72.7%	6 54.5%	6 54.5%	8 72.7%	1 9.1%
4～5年以内に予定	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	12 44.4%	11 40.7%	17 63.0%	6 22.2%	9 33.3%	17 63.0%	8 29.6%
予定なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体	31 38.3%	30 37.0%	43 53.1%	29 35.8%	35 43.2%	49 60.5%	23 28.4%

・製造業全体では、「収集データの分析結果に基づく業務・作業工程の最適化」が60.5%と最も割合が高く、次いで、「収集データの分析、解析」が53.1%、「収集データに基づく予知保全」が43.2%となった。

・既に導入済みの企業についても同様に「収集データの分析結果に基づく業務・作業工程の最適化」が66.7%と最も割合が高い一方で、今後導入予定の企業については、「収集データの分析、解析」の割合が高い傾向となっている。

### 3 IoTの導入・活用の段階（データの収集・共有範囲）

データ共有範囲 (現状) 状況	データ共有範囲				
	①自社の部門内	②自社内	③自社及びグループ企業内	④自社及び取引企業内	⑤その他同業界他社等自社外との連携
既に導入・活用済み	15 55.6%	15 55.6%	6 22.2%	1 3.7%	1 3.7%
1年以内に予定	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2～3年以内に予定	4 36.4%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
4～5年以内に予定	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
予定なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体	24 29.6%	22 27.2%	6 7.4%	1 1.2%	1 1.2%

・製造業全体では、「自社の部門内」が29.6%と最も割合が高く、次いで、「自社内」が27.2%となった。既に導入済みの企業においても同様の傾向が見られた。

データ共有範囲 (今後の予定) 状況	データ共有範囲				
	①自社の部門内	②自社内	③自社及びグループ企業内	④自社及び取引企業内	⑤その他同業界他社等自社外との連携
既に導入・活用済み	2 7.4%	7 25.9%	8 29.6%	6 22.2%	2 7.4%
1年以内に予定	2 22.2%	7 77.8%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%
2～3年以内に予定	4 36.4%	6 54.5%	4 36.4%	3 27.3%	2 18.2%
4～5年以内に予定	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	11 40.7%	18 66.7%	6 22.2%	4 14.8%	4 14.8%
予定なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体	20 24.7%	40 49.4%	22 27.2%	15 18.5%	8 9.9%

・製造業全体では、「自社内」が49.4%と最も割合が高く、次いで、「自社及びグループ企業内」が27.2%となった。

・既に導入済みの企業では「自社及びグループ企業内」が29.6%と最も割合が高く、データの共有範囲を広げていることを考えている企業が多い結果となった。

・一方で、今後導入予定の企業においては「自社内」の割合が高い結果となった。

#### 4 IoTを導入・活用するにあたり課題に感じること

課題	導入メリットへの理解	費用対効果への理解	技術やツール等の情報不足	データ分析・解析手法等の情報スキルなどの不足	導入費用の確保	セキュリティ対策	企業内ノウハウなど情報流出のおそれ(情報の保護)	データ共有のためのフォーマット等の統一ができていない	人力的な余裕がない	IoTに対応できる人材がない	相談できる相手がわからない	具体的な話を打ちかける相手(企業)がわからない	特に課題はない	その他
既に導入・活用済み	5 18.5%	14 51.9%	6 22.2%	13 48.1%	10 37.0%	7 25.9%	1 3.7%	5 18.5%	10 37.0%	5 18.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.1%	0 0.0%
1年以内に予定	2 22.2%	7 77.8%	3 33.3%	6 66.7%	5 55.6%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2～3年以内に予定	0 0.0%	8 72.7%	5 45.5%	8 72.7%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	4 36.4%	5 45.5%	1 9.1%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%
4～5年以内に予定	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	11 40.7%	17 63.0%	9 33.3%	11 40.7%	10 37.0%	8 29.6%	3 11.1%	4 14.8%	7 25.9%	11 40.7%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	2 7.4%
予定なし	2 40.0%	3 60.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%
全体	20 24.7%	51 63.0%	26 32.1%	40 49.4%	28 34.6%	17 21.0%	5 6.2%	10 12.3%	26 32.1%	25 30.9%	4 4.9%	4 4.9%	3 3.7%	3 3.7%

- ・製造業全体では、「費用対効果への理解」が63.0%で最も割合が高く、次いで、「データ分析・解析手法等の情報スキルなどの不足」が49.4%、「導入費用の確保」が34.6%となった。導入済みの企業においても同様の傾向が見られた。
- ・一方で、今後導入予定の企業については「IoTに対応できる人材がない」についても高い割合となった。

#### 5 コンソーシアムや県に対して求める取組み

求める取組み	セミナー・講演会・勉強会など、IoTの情報・動向を理解するための取組み	導入事例の普及(事例集の作成など)	IoT技術・ツール類の詳細な講座	実際に導入している企業等への訪問・視察	会員企業間の交流・意見交換	相談窓口の設置・充実	専門家の派遣・指導	自社の人材育成への支援(講座・研修・ワークショップなど)	若手社員や学生等による柔軟なアイデア創出支援	補助金、融資など導入費用への支援	会員企業間のマッチング支援(商談会、展示会など)	共同で利用できる仕組みづくり(基盤システムなど)	その他
既に導入・活用済み	11 40.7%	13 48.1%	7 25.9%	13 48.1%	1 3.7%	3 11.1%	3 11.1%	4 14.8%	2 7.4%	10 37.0%	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%
1年以内に予定	4 44.4%	5 55.6%	3 33.3%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%
2～3年以内に予定	3 27.3%	7 63.6%	4 36.4%	6 54.5%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	6 54.5%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
4～5年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	11 40.7%	17 63.0%	9 25.9%	10 37.0%	2 7.4%	3 11.1%	5 18.5%	7 25.9%	1 3.7%	7 25.9%	0 0.0%	3 11.1%	1 3.7%
予定なし	4 80.0%	3 60.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体	33 40.7%	45 55.6%	23 28.4%	38 46.9%	4 4.9%	8 9.9%	11 13.6%	19 23.5%	4 4.9%	24 29.6%	1 1.2%	9 11.1%	1 1.2%

- ・製造業全体では、「導入事例の普及」が55.6%で最も割合が高く、次いで、「導入企業への訪問・視察」が46.9%、「セミナーなど、IoTの情報・動向を理解するための取組み」が40.7%となった。
- ・導入済みの企業においては、「導入事例の普及」「導入企業への訪問・視察」が48.1%で最も割合が高かった一方で、今後導入予定の企業においては、「導入事例の普及」の割合が高い傾向にあった。

【非製造業】(n=47)

1 IoTを導入・活用する目的

状況 \ 目的	生産工程の可視化	生産性向上	省人化	在庫管理	製品・サービスの質の向上	製品・サービスの高付加価値化	新たな商品・サービスの創出	社員の働き方改革、職場環境改善	取引先・グループ会社等からの要望	その他
既に導入・活用済み	1 7.1%	5 35.7%	5 35.7%	2 14.3%	4 28.6%	6 42.9%	7 50.0%	5 35.7%	1 7.1%	2 14.3%
1年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
2～3年以内に予定	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
4～5年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	3 15.0%	7 35.0%	10 50.0%	6 30.0%	4 20.0%	6 30.0%	6 30.0%	9 45.0%	0 0.0%	0 0.0%
予定なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
全体	5 10.6%	12 25.5%	15 31.9%	8 17.0%	8 17.0%	13 27.7%	15 31.9%	17 36.2%	2 4.3%	3 6.4%

・非製造業全体では、「社員の働き方改革、職場環境改善」が36.2%と最も割合が高く、次いで、「省人化」「新たな商品・サービスの創出」が31.9%となった。

・うち、導入済みの企業においては「新たな商品・サービスの創出」が50.0%と最も割合が高く、次いで「製品・サービスの高付加価値化」が42.9%となった。

## 2 IoTの導入・活用の段階（活用段階）

導入・活用 （現状） 状況	①機器等へのセ ンサーカメラ等の 設置によるデータ 収集	②収集データのリア ルタイムでの監視、 モニタリング	③収集データの 分析、解析	④収集データに 基づく機器等の 自動制御、遠隔 制御	⑤収集データに 基づく予知保全	⑥収集データの 分析結果に基づく 業務・作業工程 の最適化	⑦データの分析 結果に基づく製 品・サービスの高 付加価値化
既に導入・活用済み	10 71.4%	7 50.0%	4 28.6%	3 21.4%	5 35.7%	1 7.1%	3 21.4%
1年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2～3年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
4～5年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	1 5.0%
予定なし	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体	11 23.4%	8 17.0%	5 10.6%	3 6.4%	5 10.6%	3 6.4%	4 8.5%

・非製造業全体では、「機器等へのセンサーカメラ等の設置によるデータ収集」が23.4%と最も割合が高く、次いで、「収集データのリアルタイムでの監視、モニタリング」が17.0%となった。既に導入済みの企業においても同様の傾向が見られた。

導入・活用 （今後の予定） 状況	①機器等へのセ ンサーカメラ等の 設置によるデータ 収集	②収集データのリア ルタイムでの監視、 モニタリング	③収集データの 分析、解析	④収集データに 基づく機器等の 自動制御、遠隔 制御	⑤収集データに 基づく予知保全	⑥収集データの 分析結果に基づく 業務・作業工程 の最適化	⑦データの分析 結果に基づく製 品・サービスの高 付加価値化
既に導入・活用済み	3 21.4%	4 28.6%	7 50.0%	2 14.3%	6 42.9%	7 50.0%	5 35.7%
1年以内に予定	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
2～3年以内に予定	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
4～5年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	8 40.0%	10 50.0%	13 65.0%	8 40.0%	6 30.0%	12 60.0%	7 35.0%
予定なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体	11 23.4%	16 34.0%	22 46.8%	11 23.4%	12 25.5%	20 42.6%	15 31.9%

・非製造業全体では、「収集データの分析、解析」が46.8%と最も割合が高く、次いで、「収集データの分析結果に基づく業務・作業工程の最適化」が42.6%、「収集データのリアルタイムでの監視、モニタリング」が34.0%となった。

・また、導入済み企業、今後導入企業問わず同様の傾向にあった。

### 3 IoTの導入・活用の段階（データの収集・共有範囲）

データ共有範囲 (現状) 状況	データ共有範囲				
	①自社の部門内	②自社内	③自社及びグループ企業内	④自社及び取引企業内	⑤その他同業界他社等自社外との連携
既に導入・活用済み	3 21.4%	3 21.4%	0 0.0%	3 21.4%	2 14.3%
1年以内に予定	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2～3年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
4～5年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	4 20.0%	4 20.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%
予定なし	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体	7 14.9%	9 19.1%	1 2.1%	4 8.5%	2 4.3%

データ共有範囲 (今後の予定) 状況	データ共有範囲				
	①自社の部門内	②自社内	③自社及びグループ企業内	④自社及び取引企業内	⑤その他同業界他社等自社外との連携
既に導入・活用済み	3 21.4%	5 35.7%	1 7.1%	0 0.0%	3 21.4%
1年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%
2～3年以内に予定	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
4～5年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	5 25.0%	11 55.0%	8 40.0%	7 35.0%	3 15.0%
予定なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体	9 19.1%	17 36.2%	9 19.1%	8 17.0%	8 17.0%

・非製造業全体では、「自社内」が19.1%と最も割合が高く、次いで、「自社の部門内」が14.9%となった。

・既に導入済みの企業においては、「自社及び取引企業内」についても割合が高い傾向が見られた。

・非製造業全体では、「自社内」が36.2%と最も割合が高く、次いで、「自社の部門内」「自社及びグループ企業内」が19.1%となった。

・既に導入済みの企業では「その他同業界他社等自社外との連携」の割合も高く、「社外との連携」も検討している結果となった。

#### 4 IoTを導入・活用するにあたり課題に感じること

課題 状況	導入メリットへの理解	費用対効果への理解	技術やツール等の情報不足	データ分析・解析手法等の情報スキルなどの不足	導入費用の確保	セキュリティ対策	企業内ノウハウなど情報流出のおそれ(情報の保護)	データ共有のためのフォーマット等の統一ができていない	人力的な余裕がない	IoTに対応できる人材がない	相談できる相手がわからない	具体的な話を打ちかける相手(企業)がわからない	特に課題はない	その他
既に導入・活用済み	8 57.1%	9 64.3%	3 21.4%	9 64.3%	6 42.9%	1 7.1%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%	2 14.3%	3 21.4%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%
1年以内に予定	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
2～3年以内に予定	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
4～5年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	9 45.0%	9 45.0%	8 40.0%	8 40.0%	5 25.0%	7 35.0%	4 20.0%	4 20.0%	7 35.0%	9 45.0%	3 15.0%	3 15.0%	1 5.0%	0 0.0%
予定なし	3 33.3%	4 44.4%	1 11.1%	2 22.2%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%
全体	22 46.8%	24 51.1%	12 25.5%	19 40.4%	14 29.8%	10 21.3%	5 10.6%	7 14.9%	7 14.9%	11 23.4%	7 14.9%	8 17.0%	1 2.1%	3 6.4%

・非製造業全体では、「費用対効果への理解」が51.1%で最も割合が高く、次いで、「導入メリットへの理解」が46.8%、「データ分析・解析手法等の情報スキルなどの不足」が40.4%となった。導入済みの企業においても同様の傾向が見られた。

#### 5 コンソーシアムや県に対して求める取組み

求める取組み 状況	セミナー・講演会・勉強会など、IoTの情報・動向を理解するための取組み	導入事例の普及(事例集の作成など)	IoT技術・ツール類の詳細な講座	実際に導入している企業等への訪問・視察	会員企業間の交流・意見交換	相談窓口の設置・充実	専門家の派遣・指導	自社の人材育成への支援(講座・研修・ワークショップなど)	若手社員や学生等による柔軟なアイデア創出支援	補助金、融資など導入費用への支援	会員企業間のマッチング支援(商談会、展示会など)	共同で利用できる仕組みづくり(基盤システムなど)	その他
既に導入・活用済み	6 42.9%	4 28.6%	4 28.6%	4 28.6%	6 42.9%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	4 28.6%	8 57.1%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%
1年以内に予定	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
2～3年以内に予定	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
4～5年以内に予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
時期未定・導入予定	7 35.0%	8 40.0%	7 35.0%	6 30.0%	2 10.0%	1 5.0%	2 10.0%	5 25.0%	0 0.0%	5 25.0%	2 10.0%	2 10.0%	0 0.0%
予定なし	5 55.6%	5 55.6%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
全体	20 42.6%	17 36.2%	17 36.2%	12 25.5%	9 19.1%	2 4.3%	5 10.6%	8 17.0%	6 12.8%	17 36.2%	7 14.9%	2 4.3%	0 0.0%

・非製造業全体では、「セミナーなど、IoTの情報・動向を理解するための取組み」が42.6%で最も割合が高く、次いで、「導入事例の普及」「IoT技術ツール類の詳細な講座」「補助金、融資など導入費用への支援」が36.2%となった。

・一方で、導入済みの企業においては、「補助金、融資など導入費用への支援」が57.1%で最も割合が高かった。